

143 御馬寄古城跡



指定 市史跡 昭和25年12月1日
所在地 御馬寄
所有者 山浦 幸之助外



明治12年（1879）5月付けで、御馬寄村の町田佐太郎ほか7名から長野県令榎崎寛直へ提出した御馬寄村誌に、

〔古城址〕村の丑の方四町、字城にあり。東西四十間、南北二十間、東西に堀あり、今畑となりて纔に形跡を存す。千曲川に臨みて平坦なり。城山、城ノ腰、城ノ上の字あり。何人の居たるや不詳。或は古昔牧監居館の址ならんか。

とある（『長野県町村誌』東信篇）。御馬寄の人々が、古くからこの地（現在は田中島とよばれている地）を古城跡、さらには望月牧の牧監の居館跡ではないかとみていたことがわかる。